

# ご卒業 おめでとう ございます



上げます。また、地域の皆様の長きにわたるご支援  
ご協力にも心よりお礼申し上げます。  
私が生徒と過ごしたこの二年間は、後期生徒と  
して、生徒会の取組であるAAAあいさつやSS

三月七日は、本校が開校して五回目の卒業式を迎えます。学び舎を巣立つていく二十八名の生徒の皆さんはもちろん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。開校当時は、五年生だった子どもたちも、この五年間で心身ともに成長しました。九九年の義務教育を終えることに心よりお祝い申し上げます。

S清掃、返事返礼など志成学園が大切にしてきた志成魂や活動で随所に手本を示してくれました。先輩が姿を見せてくれたからこそ、後輩の姿に息づいているわけであり、本校の自慢でもあると思っています。何より、体育大会や文化祭で見せてくれた、絆の深さは、心から感動を与えてくれました。  
一人ひとりが自身の役割を担い、その役割を果たそうと一生懸命な姿に、私は、いつも感銘を受けました。「本物こそが人を感動させることができる。」と九年生の姿から教えられました。  
これから進む道は異なりますが、義務教育で学んだ九年間の経験を礎にして、これからの人生に新たな夢や志をもつて一歩ずつ前へ進んで欲しいと願っています。  
二十八名の前途に幸多からんことを心からお祈り申し上げます。

## 地域の皆様 一年間お世話になりました

朝の交通指導や授業でのゲストティーチャー、読み聞かせ、学びの教室や学サポ等の活動では、地域の皆様のご協力をいただき、無事一年間の活動を終えることができました。改めて感謝申し上げます。  
活動のいくつかを紹介いたします。

### 読み聞かせ

読み聞かせグループ「にじいろ」の皆さんを中心に、保護者の方々も含め、二十名の皆様の協力のおかげで、毎週火曜日の朝の↓



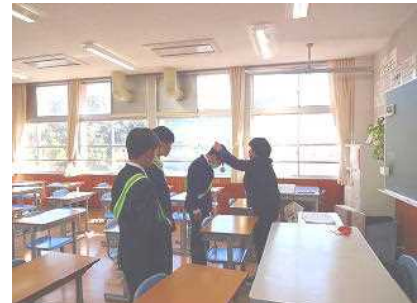
時間に読み聞かせを行っていただきました。  
読み聞かせボランティアの方々には、選書からお願いしています。おかげで子どもたちは、たくさん本の世界にふれることができました。

### 学びの教室

三～六年生の児童を対象に、毎週水曜日の放課後に地域の方々が学習サポーターとなつて、算数や国語の学習を行ってきました。前学年の内容を復習できる大切な学習の場となりました。

### 学サポ

七・八年生を対象に、毎週水曜日の放課後に数学と英語の学習を行ってきました。数学の講師として



英語の講師として  
ご指導を  
していただき  
ました。  
今年度は、参加する生徒

が少なかつたのですが、ここでも復習を中心に学び直しができる貴重な学習の場となっています。来年度は、是非多くの生徒が参加してくれることを願っています。



■ゲストティーチャーとして

学年の様々な活動に、ゲストティーチャーとして多くの方に協力をしていただきました。

教員の指導だけでなく、内容に詳しい地域の皆様のご指導をいただくことで活動がより充実したものとなりました。

## 福祉優秀校受賞



大分合同新聞社、大分合同福祉事業団の主催する第三十七回福祉優秀校に本校が選ばれました。二月二十七日の大分合同新聞にも掲載されましたが、県下で本校を含め四校が今年度の福祉優秀校に選ばれました。

秀溪園や武溪の会、すこやか会の皆様にご協力をいただいている米作りやむさし苑様にご指導いただいている福祉体験学習、また市内保健師の皆様のご協力を得て行っている「認知症サポーター講座」や赤ちゃんとのふれあい体験、武蔵夏の夜祭り翌日のゴミ拾いなど、福祉に関する学習やボランティア活動が認められました。去る二月二十八日に大分合同新聞社にて、児童生徒会副会長 さんと授賞式に参列しました。表彰式の模様は、大分合同新聞社の動画配信でも見る事ができます。

## 新年度に向けて子どもたちのために

今年度を終えて、子どもたちは、ほっとするとともに、次年度への期待や不安でいっぱいになってくると思います。春休みは、夏・冬休みとちがつて、心機一転し心の準備をする大切な時期でもあります。スタートに向けて、親子でやがて始まる新学期について話すことも多いと思います。子どもたちの不安を取り除いてやることも大切ですが、心の準備として、次のような逸話も話題にしてみてもどうでしょうか。

今川義元のもとへ、竹千代（後の徳川家康）が人質となっていた話は有名です。あるとき、義元は、家来に「むごい教育をせよ」と命じたそうです。

家来は、「日が昇る前から起し、粗末な食事を与え、剣術、武術、馬術の練習を、夜は、勉強をくたくたになるまでやらせております。とてもむごい教育をしています。」と報告をしたところ、義元は、「それは、むごい教育ではない。寝ただけ寝かせ、ぐちぐちを与え、鍛錬などせず、何不自由なく、好きなことだけやらせておけばよい。」「そうすれば、大概の人間は、骨抜きになり、だめになるものだ。」と説教したという話です。

また、十八世紀の哲学者ルソーは、「子どもを不幸にするいちばん確実な方法は、いつでも、なんでも手に入れられるようにしてやることである。」とも述べています。

子どもの発達段階に応じて、実際は対応していくことが大切ですが、大事なことを現代に示唆してくれていると思います。

## 入賞おめでとう！

☆第四十三回大分県ジュニアデザイン展  
推奨 六年 さん

☆第六十八回西日本読書感想画コンクール  
入賞 七年 さん

☆世界夢一文字コンテスト  
金賞 八年 さん  
銅賞 五年 さん

## 学年末授業参観 お待ちしています！

三月十三日（木）に学年末授業参観・学級懇談会を行います。一年を終えて、子どもたちの成長の様子や次年度への課題、次学年の準備についてや春休みの生活について懇談を予定しています。

また、今回より学級ごとに出欠を記録させていただきます。子どもたちを育んでいく上で、保護者の協力は欠かせません。学校との両輪で子どもたちの心身に健全な成長を見守っていききたいの思いからです。

保護者の皆様の様々な声を聞かせていただき、ますようお願い申し上げます。

学校と保護者の皆様が手を携えていくことで教育効果も大きく期待できます。お仕事でご都合がつかない方もいらつしやると思いますが、何卒ご理解いただき、ご参加くださいますようお願い申し上げます。